



# 校長室だより

黒部市立村椿小学校  
文責：校長 寺島紀子  
令和6年5月10日  
第6号

今週は数日の間にも寒暖の差が大きく、また大型連休の疲れもあり、体調を崩しがちな日々であったかと思えます。少しずついつもの生活リズムに戻しながら、充実した毎日を送りたいものですね。

週の半ばは雨降りの朝が続きました。黄色いカッパ姿の1・2年生も健気ですが、3年生以上の子たちが思い思いの色柄の傘を差して登校するのもかわいらしいものです。中には傘を閉じた後、上手くたためない子がいます。どうすればいいか聞いてくる子もいて、「まずこうやって…」と実演してみせました。ちょっとしたことですが、やり方を見たり説明を聞いたりして自分なりに繰り返してやってみることが大切なようです。雨ガッパのたたみ方、傘のたたみ方、それぞれ週末に各ご家庭で練習してみるのはいかがでしょうか。



## 伝統の3Kについて考えること その2「よく考える子」

目指す子供の姿			地域と学校の 教育目標
3K	2K	1K	
体 元 気 で や り ぬ く 子 健 康 ・ 快 活 ・ 根 気	知 よ く 考 え る 子 向 上 ・ 工 夫 ・ 継 続	徳 助 け 合 う 子 協 力 ・ 勤 労 ・ 感 謝	地域に学び、個性豊かにたくましく 自ら学び行動する子供を育てる

「1K：助け合う子」に「感謝」を加えたこともあり、「2K：よく考える子」にも「継続」を新たに加えました。「継続は力なり」は「徳」「体」にも通じることですが、とりわけ「知」では毎日の学習の積み重ねがいつしか大きな力になります。学校での授業だけでなく、「わくスタノート」等を活用しての自主的な学習を大切にしてほしいと思います。

### ★よいよい授業に向けて 今年度の取組

子供の力を引き出す基本は、やはり日々の授業です。本校では今年度、教育目標に合わせて「自ら学び行動する子供の育成」を研究テーマに、よいよい授業に向けて取り組んでいます。大事にしたい視点としては3つあります。

その1：「今夢中になれる学び」づくり…「将来のために」も大切ですが、「今おもしろいからやる」「あっという間に時間がたっていた」と思える学習にしたいと考えます。得意・不得意があってもそれを感じ過ぎることなく、一人一人が自分の目の前のことに集中し、夢中になって取り組める授業ができれば…。そういうときの子供の姿は本当に輝いています！

その2：「もっと考えたい」学習の過程…「どうしてこうなるのだろう」「調べてみたい」「友達の考えを聞いてみよう」など、子供の学習意欲が次へ次へとつながるように工夫していく必要があります。時には、授業中に疑問が解決しないままの「モヤモヤ授業」でもよいかと思えます。「次の時間もやりたい」「自学で復習【予習】しなくては」と、子供の心が動けば大成功です。

その3：「分かった」「できた」「認められた」と実感できる場…一人一人が達成感を自覚できる場がしっかり保障されていることが大切です。教師からの評価だけでなく、友達からの声かけ、自分自身の振り返りなど、様々なタイミングや方法が工夫できそうです。

目の前の子供一人一人の姿をよく見つめながら取り組んでいきます。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております！  
校長室だよりへの感想 切り取り できればお名前 or 児童名 ( )





## 新入生歓迎集会 放送委員会ががんばりました

連休明けの7日(火)、5限に今年度初の児童会主催の全校集会「新入生歓迎集会」が行われました(詳しくは学校HPをご覧ください)。今回は放送委員がたった6名で役割を分担し、チームワークよく集会を企画・運営していて感心しました。

新型コロナの5類移行からようやく1年がたちました。こうした集会等の機会を子供たち自身がどんどん企画し、工夫して思い切り楽しめるようにサポートしたいと思います。



## シリーズ「教室におじゃまします」5/8(水)1年国語科の巻

入学してまだ1カ月の1年生ですが、教科書では「はなのみち」という物語文をしっかり勉強しています。見開き2ページごとに絵と文が書かれ、4つの場面で計8ページのお話です。この日は前の時間からの続きで、会話文が「」を使って書かれていることと、その「」の書き方のポイントを確認しました。もう一人一人のノートには本文そっくりに写し書きもしてありました。素晴らしい! その後、お話の後半の内容に入っていました。

本文を音読する際、坪野先生が「人差し指を『くまさんが』の『く』の上に置いて」と伝え、子供たちの準備ができてから「先生の後について指をなぞりながら読みましょう」と言いました。なるほど、本を立てて読むよりもこの方が読み落としがなく、とてもいい方法です。子供たちは懸命に文字をなぞって読んでいました。

その後『しまった。あながあいていた。』が「くまさん」の話した言葉であることや、そのときのくまさんの様子、またそれを聞いている「りすさん」のこと等、大きな挿絵も参考にしながら場面の様子をあれこれと考え、次々と発表しました。途中、つけたしますのハンドサインを使って挙手する子もいて、友達の話した内容をよく聞いていることが分かりました。しっかりしています。

温かい雰囲気の中で、1年生は落ち着いて学習に取り組んでいました。



<おまけのひとりごと> 私は担任の頃は中学校勤務が長かったので、結局、小学1年生と2年生は学級担任をしたことがありません。校長になって学校内を回っていると、小学校低学年を担当するのはなかなか難しいことだなあと、改めて感じています。子供への伝え方や細かい配慮等、低学年ならではのポイントがいろいろあります。坪野先生は今年初めての1年担任ですが、持ち前の優しく真面目な人柄でしっかり子供のことを見つめ、その都度ベストな対応をよく考え、丁寧に取り組んでいるところに頭が下がります。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております!  
校長室だよりへの感想 切り取り できればお名前 or 児童名( )